寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点〜終点 山手通り - 1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り(番外編)」、「靖国通り(元 大正通り)」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」と歩いてきました。

今回は東京城南地域の環状方向の道路「山手通り」を歩きます。写真上右は 山手通りの道路名標識(都道 317 号線)です。

山手通りは品川区の海岸通りの新東海橋交差点を起点に目黒区、渋谷区、中野区、新宿区、豊島区を経て板橋区の中山道仲宿に至る延長約19kmの道です。 交差点も多いので4回に分けて歩きます。山手通りは多くの駅近くを通過し、 多くの鉄道路線の下や上を通過します。鉄道路線がいくつあるか楽しみです。

今回は起点の新東海橋交差点から大崎警察署脇まで歩きます。掲載の写真は 人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[新東海橋交差点] 品川区東品川一丁目

最寄駅 京急線 新馬場駅

京急線 新馬場(しんばんば)駅を下りて、山手通りを天王洲運河方向に歩くと 新東海橋交差点(写真下左)です。新東海橋交差点は山手通りの起点、旧海岸 通りの終点で海岸通りと交差します。新東海橋は天王洲運河に架かる橋で渡る と天王洲アイル、その先の品川埠頭橋を渡ると東京電力火力発電所で目の前は 東京湾です。写真下右は新東海橋交差点の歩道橋の上から撮りました。正面が 山手通りです。





新東海橋(写真下左)の上から天王洲運河(写真下右)を撮りました。





スタートして右側に聖蹟公園(写真下左)があります。江戸時代は大名の品川 宿の本陣、その後は明治天皇が休憩した御在所跡です。旧東海道(写真下右) が山手通りを横断しています。







京急線①の下(写真左)を通過します。右が新馬場駅です。 通過する鉄道路線名の後ろにカウント数字を表示します。京急線が最初の通過する鉄道路線です。

[北品川二丁目交差点] 品川区北品川二丁目

最寄駅 京急線 新馬場駅

北品川二丁目交差点(写真下右)で第二京浜(国道 15 号線)と交差します。 左へ行くと川崎方面、右へ行くと銀座方面です。





山手通りは直進して進むと、左側に東海禅寺があります。入口は右脇の道から



です。東海禅寺(東海寺)は1639年(寛永16年)三代将軍徳川家光により創建され、家光は沢庵和尚(沢庵漬けの考案者)を住職にしました。焼失後は五代将軍綱吉により再建されました。幕府の保護を受け広大な寺域を持つ寺でした。

写真下左はその先にある「子供の森公園」で怪獣がいました。前方にはJR東海道線②、JR京浜東北線③のガードがあり、山手通りは下を歩きます。





ガードを過ぎると、すぐ右に史蹟「官営品川硝子製造所跡」の碑があります。 日本の近代ガラス工業はこの地で始まり、建物は明治村に保存されているそう です。右の細い道を線路に沿って上がると、「東海寺大山墓地」です。この辺り まで東海寺の寺域だったようです。沢庵和尚や国鉄関係者、島倉千代子の墓も あります。寅さん歩 64 健康ご利益めぐり一26 品川区(こぼれ話)をご覧く ださい。





その先のJR東海道新幹線④、JR山手線⑤のガードの下を歩きます。写真上 右は新幹線の通過が撮影できました。左側は目黒川です。目黒川は直進します が、山手通りは居木橋(写真下左)を渡り、左折して山手線大崎駅方面(写真 下右)に進みます。目黒川にはまた再会します。





山手通りは大崎陸橋を上り、歩行者は下の道を進み、大崎駅へ上がるエスカレーター(写真下左)で「大崎陸橋」に出ます。小さな表示を見落とし、下の道をそのまま進んでしまい、間違いに気づき戻って、やり直しました。





写真上右はエスカレーターで上がった大崎陸橋で、今度は山手線⑥、埼京線⑦、 の上を歩きます。大崎陸橋からビルの眺め(写真下左)は格別です。写真下右 は大崎陸橋の下り口から見た五反田方面です。





大崎警察署(写真下左)とその並びの立正大学品川キャンパス(写真下右)の 脇を歩きます。寅さん歩 208 東京の学食めぐり-14 をご覧ください。





今回の山手通りはここまでとします。

「こぼれ話」グローイング・ガーデナー

大崎陸橋の下の道を間違えて行った際に見つけたアート作品です。脇の説明板に「グローイング・ガーデナー 2006 年 インゲス・イデー アルミニウム、スチール」と記載。家に戻り調べたら、ドイツの芸術家 インゲス・イデーの作品でアルミニウム、スチールは材質です。童話に出てくる小人のような妖精で森の守り神を意味する庭師(ガーデナー)をモチーフにしているようです。大崎再開発の際に建設された高層ビル「アート ヴィレッジ大崎」の敷地内に設置されたアート作品の一つとのことです。この作品は道路に面していたので気付きました。ビルに合わせた帽子ですが、愛くるしいお顔をしていました。





[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。 寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里(約 2400 km)の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川(現在の江東区深川)の芭蕉庵を出発、2022年7月18日飯塚の里(現在の福島県福島市飯坂町)(江戸深川から472km)に到着しました。

八柳さんのコースシートには、「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

飯塚の里丸山、義経の忠臣として活躍した佐藤庄司の城跡を訪ねる。

笈も太刀も 五月に飾れ 鯉のぼり

注釈: 五月の薫風に鯉のぼりが勇ましくひるがえっている。この寺(医王院) の寺宝とする弁慶の笈(おい)も義経の太刀も、端午の贈り物として 晴れ晴れしく飾り、そのかみの武勇の歴史を今に伝えるがよい。

寅次郎注釈:笈(おい)とは行者達が仏具や衣服等を入れて背に負う箱

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠ら ないようにお願いします!

平野 寅次郎 拝